

拠出金名: 国連国際防災戦略事務局拠出金

国際機関等名	国連国際防災戦略(ISDR) (英文名称・略称) UN/International Strategy for Disaster Reduction				
種 別	(国連(事務局))	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(災害予防担当)				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成21年度	27,810	270		1米ドル = 103円	0
平成20年度	30,510	270		1米ドル = 113円	0
平成19年度	20,024	173		1米ドル = 116円	0
当該拠出金の目的・用途等	UN/ISDRの活動費、人件費、運営費等				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009年のもの)				国際機関等の財政 (2008-9年度決算)(米ドル)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入	46,758,497
1位	スウェーデン	6,010	29.1	当該年度の支出	50,329,963
2位	豪州	3,136	15.2	次年度への繰越	-3,751,466
3位	ドイツ	2,582	12.5	会計検査機関名	
4位	英国	1,895	9.2	国連会計検査委員会	
5位	ノルウェー	1,293	6.3	(UN Board of Auditors)	
日本(拠出率:5.4%, 順位:6位)				(現在の構成員の出身国:英, 南ア, 中)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化, 機能強化のための改革が行われているか, 当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を 含む)					
<p>UN/ISDRは、国際社会の防災協力を推進する、唯一の国際防災機関である。2005年1月、我が国の提案の下、国連防災世界会議が兵庫県神戸市で開催され、世界の防災活動の指針となる「兵庫行動枠組(2005-2015)」が採択されるなど大きな成果を収めた。同行動枠組には我が国の提案が盛り込まれるなど、我が国の貢献も適切に反映され、国際社会から評価を得た。また、2010年には、兵庫行動枠組のフォローアップとして中間レビューを主導する等、国際社会における防災分野の規範作りのみならず、その実施及びフォローアップにも貢献している。こうした役割を担う国連システム内の調整機関としてのUN/ISDRの役割は重要であり、我が国としては、引き続きその活動に対する支援を行う必要がある。</p> <p>国連防災世界会議の成果及びフォローアップの調整機能を担うことになっているUN/ISDRが、その役割を果たすべく、ホームズ国連人道問題担当事務次長のリーダーシップにより、UN/ISDRの機能強化に向けた検討が行われた。その結果、2006年12月の国連総会において、UN/ISDRの新たな推進体制として各国政府、関係国際機関等からなる「防災グローバル・プラットフォーム」を設立する決議が採択された。</p> <p>最近では、UN/ISDRは、2010年1月に自らの過去4年間の活動状況を審査する評価運営委員会を設立し、外部評価を実施の上、ドナーをはじめとするパートナー国と評価結果について議論を行い自らの活動に反映させる等の改革努力を行っている。</p> <p>我が国は、サポート・グループ会合の中心メンバーとして、UN/ISDRのこうした改革努力を支持している。</p>					
邦人職員数	3人	当該機関全体の職員数	84人		
うち幹部以上	うち 0人	及び邦人職員が占める率	4%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
幹部ポストへの邦人職員送り込み実現に向けて引き続き努力する。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。